

# たしな、議会だより

No.36

2013年12月2日

【題字】 渡邊 あかり 朱理 さん



## 中条小学校マーチングバンド

11月2日 胎内いいもんまつり  
産業文化会館

第3回定例会概要

2ページ

臨時議会概要

3ページ

一般質問

4～11ページ

常任委員会

12～13ページ

行政視察等

14～15ページ

24年度決算審査

16～19ページ

平成25年 10月2日～23日

# 第三回 定例会 概要

本定例会は10月2日から23日までの22日間にわたって開催され、補正予算12件、条例関係9件（改正6件）、字の変更、新市建設計画の一部変更、人事同意4件、報告2件、発議5件、24年度決算の認定15件が提案され、慎重審議の結果、全議案が可決された。

一般質問は8名の議員がそれぞれ市政の課題について質問した。

## 審議された議案と採決結果

### 人事案件の同意

副市長の選任

三宅政一氏（59歳・横道）

監査委員の選任

水澤勝正氏（61歳・北成田）

教育委員会委員の任命

藤木國裕氏（67歳・桃崎浜）

教育委員会委員の任命

小野達也氏（54歳・東本町）

### 吉田市長 所信表明

3期目のスタートに当たり今後4年間の所信を表明した概要

「安全に安心して快適に暮らせる地域づくり」

1. 子育て支援
2. 教育環境の向上
3. 歴史・文化の継承と保存
4. 健康・福祉・医療への取り組み
5. 防災への取り組み
6. 社会資本整備

「活力を創出する環境づくり」

1. 農業振興
2. 商工振興
3. 観光振興
4. 企業誘致
5. 雇用対策

「健全な財政に基づきまちづくり」

1. 平成27年度で合併特例債交付が終わり、段階的に地方交付税が縮減されるため、今年度中に中期的な財政健全化計画を作成する。

第3回定例会で審査された議案と議決結果		議決結果	菅原市永	天木義人	薄田智	森田幸衛	松浦富士夫	高橋政美	佐藤秀夫	八幡行雄	渡辺俊	桐生清太郎	新治ひで子	花野英次兵衛	富樫誠	小林兼由	赤塚タイ	松井恒雄	丸山孝博	賛成	反対	
<b>平成25年度補正予算</b>																						
一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
介護保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
黒川診療所運営事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
簡易水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
公共用地先行取得事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
観光事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
地域産業振興事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>条例の一部改正</b>																						
防災会議条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
特別職の職員の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
公害防止条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
露店市場管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
入湯税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
第一簡易水道及び第二簡易水道給水条例及び水道給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>条例の制定</b>																						
男女共同参画推進委員会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
市立認定こども園条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
中条駅西口周辺まちづくり審議会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>その他</b>																						
字の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
新市建設計画の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>決算の認定</b>																						
平成24年度胎内市会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>人事案件</b>																						
副市長の選任について	同意	無記名投票																			13	4
監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1
教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>人事案件</b>																						
選挙管理委員会委員の選挙	当選	水澤辰夫氏・塚野耕司氏・細野 隆氏・藤井美保子氏が当選																				
選挙管理委員会委員補充員の選挙	当選	加藤宗俊氏・須貝建吉郎氏・石山政雄氏・南波英生氏が当選																				
<b>意見書</b>																						
地方財源の充実確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
私立高等学校の学費と教育条件の公私格差是正にむけ、私学助成の増額・拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
新聞の軽減税率に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

# 平成25年9月4日 第二回臨時議会

臨時議会は9月4日、一日限りで開催され、補正予算・財産の無償貸付・損害賠償の額の決定及び和解について、審議された。専決処分等の報告については、市役所本庁舎耐震工事及び中条すこやかこども園建設工事費増額による請負変更契約に関するものであり、全議案とも可決された。

## 審議された主な議案と内容

### 1. 一般会計補正予算

LED防犯灯設備補助金を21町内会の299灯、自主防災組織12組織に助成を行った。

### 2. 財産の無償貸付

黒川地区3小学校の統合に伴い閉校になった、旧鼓岡小学校の校舎の一部と駐車場用地の一部を「いちごカンパニー(株)」へ、H30年3月30日まで無償で貸し付けるもの。

### 主な質疑

**質問** いちごカンパニー(株)とはどのような会社か。

**答弁** 5月に設立された会社で、LEDを使ったイチゴ栽培を

行い、明治大学研究室のバックアップで商業ベース化していく。

### 質問

学校跡地の利用について地域の皆さんと、いつ、どんな協議をしたのか。

### 答弁

7月30日に説明会という形で、意見を伺いながらやった。

### 質問

いちごカンパニー(株)からの使用申し出はいつか。

### 答弁

5月ごろから。LED栽培技術があるということ、市が所有する適切な場所について検討していた。現在は行政財産の使用申請をしており、一時貸付をしている。

### 質問

一時貸付はしているが、今回の議会で議決されなければできなくなる、議会議決後にすべきではなかったのか。廃校になる前から、いちごカンパニー(株)のフェイスブックでは、校舎を利用してイチゴ栽培をやる写真付きで出ていたが。

### 答弁

事前にフェイスブック等に出した事については企業に厳重注意したい。

### 質問

なぜ無償貸し付けなのか。

### 答弁

今後期待できる新技術で企業が農業参入してくるのを応援していかうという思いと、商業ベースにのれば地域の雇用創出が見込めるから。また、障がい者雇用も今後計画したなどの話がある。

### 質問

補助金返還となった場合どのくらいか。

この校舎は昭和49年に国の補助を受け整備した、まだ耐用年数が残っており、有償で貸すと補助金の返還が生じる可能性が高い事もある。

### 答弁

約1,700〜800万円になる。

### 質問

生産が商業ベースに乗り、採算がとれる見通しは。

### 答弁

採算にのる目標を3年後と聞いている。市そのものが会社の経営に加わることは全くなく、施設を貸して応援するという事である。

## 財産の無償貸付 反対討論 丸山孝博

今回の貸付相手は一般的法人であり、無償貸し付けはできないはず。条例を無視し、違法行為を行う事は容認できない。それどころか市は一時貸付とは言え、事前に貸し付け、使用するための内装工事まで認めているのは議会無視も甚だしい。イチゴは胎内市の特産品ではない。営利を目的とした民間会社に公的財産を無償で貸し付ける理由はどこにもない。貸し付けるのであれば公募による適正価格で行うべきであり、この議案の撤回を求め反対する。



イチゴ苗



旧鼓岡小学校

# 経済活動について



天木 義人 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

**議員** 住宅建築リフォーム補助金、プレミアム商品券事業費補助金、及び建設工事券を継続事業とし、消費税増税による消費減退の刺激策として、予算を前倒しし、補助金券の販売と使用を4月1日からにしては。

**市長** 住宅建築リフォーム補助金、プレミアム商品券事業費補助金に係る予算の早期執行については、地域経済の活性化に対する効果も大きいと考えており、H26年度予算においても引き続き行っていきたいと考えている。住宅建築リフォーム補助金については、H26年度も今年と同様に4月早々に実施したいと考えている。プレミアム商品券事業費補助金については、新年度早々予算を執行することは可能であり、早期に実施できるよう商工会と検討したいと考えている。



胎内市プレミアム商品券

## 防災について

用する等、その危険性が高まった場合に避難情報を知らせる。避難誘導や避難所への経路については、自主防災組織や消防団等と連携を取り、安全に避難できるよう誘導したいと考えている。



避難訓練 (笹口浜)

**議員** 災害時の連絡方法は防災無線で充分か。また避難誘導、避難所への経路の住民への通知方法は。

**市長** 災害時の連絡方法は、防災無線が最も有効で、即時性があると考えている。そのほか防災メールを活用する等、その危険性

## 観光について

**議員** 乙観光物産館も築20年経過し、老朽化しているが、リフォームの考えは。

**市長** 乙観光物産館については、乙福祉センターの建て替えと合わせ、地域住民、(株)どっこん水の里等関係者の意見を十分に集約した上で、観光振興や地域の活性化、費用対効果等を検証したいと考えている。



乙観光物産館



薄田 智 議員

# 2期8年 吉田市政の 総括について

**議員** 2期8年間の成果と残った課題は何か。また、新たに生まれた課題は。

**市長** 新市建設計画を策定し、防災行政無線や学校統合、観光産業の再構築、米粉産業の振興など。残った課題は、少子高齢化の対応や各種産業の振興など、国や県と連携しながら行っていくかなければならない。また、新たな課題としては、大震災を教訓に防災やエネルギーの転換、TPP交渉の柔軟な対応、高齢者福祉や教育関連などに取り組み、胎内市を次世代に引き継いでいくことが大きな責任である。



次世代を担う子どもたち

## 合併特例債活用事業後の新たなインフラ整備について

**議員** 合併特例債活用事業は20事業、総事業費で131億円。毎年10億円ほどの事業があり、地元産業に大きな経済効果があったが、今後の対応策は。

**市長** 特例債活用事業が終了し、いっしょに地域経済が冷え込むことがないように次期の総合計画を策定するときに考慮したい。

**議員** 消雪パイプ敷設、平木田駅前の駐車場不足、高野橋の拡張、通学道路や防犯灯の整備は。

**市長** 消雪パイプの敷設は現在30地区から要望があり逐次整備を行っていく。平木田駅前の駐車場不足は対策を検討する。高野橋の拡張は県と協議をしていく。通学道路や防犯灯は地区からの要望や緊急性を勘案して整備していく。

## 市職員の育成について

**議員** まちづくりの基本は「人づくり」、この胎内市を牽引する（けんいん）のが市職員である。積極的に提案し、行動する職員をどう育成し、ヤル気を出させ、意識改革を行っていくのか。また、女性リーダーの育成は。

**市長** 今後は業績評価を併せ持つ人事評価制度に移行したい。また、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいきたい。

### 【その他の質問】

\*まちの活性化のため、地元中小企業の育成について



平木田駅前

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

# 「仲間はずれ」は、いじめと認定

## いじめ防止対策推進法が施行される



富 樫 誠 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

**議員** 法律が施行され、いじめの定義を「児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」とし、周りが軽い気持ちでやった行為でも被害者が心身に苦痛を感じればいじめと断定。重大ないじめが起きた場合は教育委員会や学校に調査組織の設置を義務付けている。

体罰やいじめへの対応について胎内市では「学校や教育委員会がこのように、子どもや親に向きあいますよ」と対応方針を事前に説明して理解を得る努力をしているのか。

**教育長** 子ども達が安心して学校生活を送っているかどうかのアンケート結果の公表や、いじめ根絶協議会、いじめ防止協議会、見逃しゼロ運動など情報交換の場を設けて理解を得る努力をしているが、いじめ対策に関する一般的な情報発信はまだ弱く感じている。

**議員** いじめ問題が起きた時、各学校ごとの対応マニュアルはあるのか。  
**教育長** 今回の案件で、備えられていると思うが独自で作っている学校は少なかつた。全学校に詳細な対応マニュアル設置を求めていく。



楽しい学校生活

### 学力向上に対する胎内市の取り組みは

**議員** 全国学力テストが小学6年・中学3年全員参加により4年ぶりに実施されたが、胎内市の評価と今後の取り組みは。

**教育長** 教科により差はあるが、小中ともほぼ全国平均である。校長会では全市全校の結果について開示し、自校の傾向分析と授業改善を求めている。

**議員** 先生方の多忙を緩和し、行き届いた指導と学力向上には人的支援が必要では。

**教育長** 予算が限られており、国や県の教員配置基準に関わる事でもあり、校長会と連携し教育長協議会や市長会等あらゆる場面で要望して行きたい。

**議員** 秋田など学力テスト成績上位県や学校、教育委員会が行う取り組みについても検証すべきでは。

**教育長** 教員の指導力は重要な要素であり、現場を見て感じ取る事が大切。教育委員会の指導管理主事・指導主事にも先進県への派遣を指示する。



学力向上に対する取り組みは



新治ひで子 議員

# 子ども安心カードの導入は

**議員** 一人暮らしの高齢者を対象に「救急医療情報キット」が配布されている。新たに子ども版の「子ども安心カード」を導入すべきでは。一日の大半を幼稚園や学校で過ごす幼児や児童、生徒を対象にするもので、学校などで1分1秒を争う急病等が発生した場合に、救急隊員に子どもの情報（緊急連絡先、病歴や服用している薬品名、アレルギーの有無、受診医療機関や主治医など）を速やかに一目で分かるように提供するもの。消防署と連携して、本市でも導入すべきではないか。

**市長** 該当する子どもの情報は、保護者同意の上、救急搬送機関に伝える。食物アレルギーなどの体

質のある子どもについて広域消防に提供、緊急搬送時の体制を整えている。



ふれあいコンサート

## 子育てメール便の配信を

**議員** 子育て支援に関するイベントなどについての情報を、該当する方々がより確実に手軽に入手できるよう、事前に登録した方々の携帯電話へ「子育て支援情報メール」の配信に取り組めないか。既存の防災情報などのメール発信に、さらにつけ加えられないか。

**市長** 子育て世代との交流促進の観点から取り組みを考えたい。

## 早期の市営墓地の整備を

**議員** 早急な市営墓地整備の詳しい情報開示が必要では。①区画の大きさ、場所、価格、管理費など、早期の市民への公開は。②購入希望の事前受け付けをして希望者数の把握、区画の広さや区画数も考え直すべきでは。③経済的に余裕のない方、将来には墓を守る家族や親族等がいない方々などを対象に、骨壺だけを安置できる納骨堂を備えた「合同墓碑」を設置する考えは。

**市長** ①総面積5,800平方メートルの市有地に256区画を整備する計画でH27年度の供用開始に向け準備中。来年度には永代使用料の算定や管理条例等を整備した上で、概要について情報提供する。②来年度の市報等で周知し、希望者のニーズを把握して、早期に公募のお知らせをする。③納骨堂を含めた「合同墓碑」の設置は考えていない。



船戸墓地公園

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

# 財政について

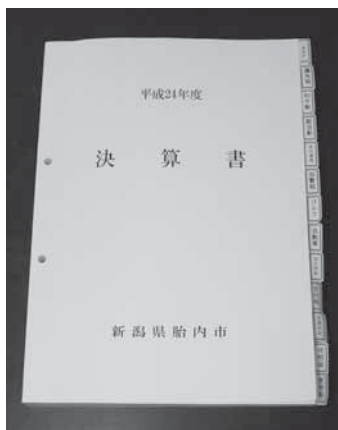


渡辺 俊 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

**【議員】** 新市建設計画の一部変更は、新市建設計画期間を3年延長されたが今後人口減少や合併算定替えによる普通交付税の段階的縮減により、財政状況が悪化することが予想されるので、合併特例債を後になって発行すれば元利償還がより遅くなるので、投資をしなければいけないものはできるだけ前倒しし、後年度の負担を減らすべきでは。

**【市長】** 新市建設計画の執行を前倒しすることは、市民にとっても早期に施設を利用することができるなど、メリットがある点で意義があるものと思う。ただ、今回の件は、中条駅西口整備事業及び関連する街路整備事業について、震災対応時における機能を十分考慮する必要があることや、JR東日本との協議に所要の時間を要していること等を考慮し、3年延長したいと考えたものである。



決算書



中条駅西口周辺

**【議員】** 合併後10年間の財政計画では、合併特例事業費を有効活用して普通建設事業費を抑える運営方針かと考察していたが、普通建設事業費が大幅な伸び率になっている事由は。

**【市長】** 危機的な日本経済の情勢を背景として、近年執行された政府の緊急経済対策に歩調を合わせる形で実施した公共事業によるものが主な要因である。

**【議員】** 3期目に臨まれた公約を実現するため、これからの4年間における事業費と財源内訳は。

**【市長】** 現時点で執行計画を策定している総事業費は、約61億1,200万円、その財源は、国県支出金12億

4,400万円、地方債44億3,600万円、中条駅西口整備におけるJR東日本からの負担金3,000万円、一般財源4億200万円である。

### 【その他の質問】

- \* 市債残高について
- \* 26年度予算編成について
- \* 健全財政の判断について
- \* 幼稚園・保育園・小中学校等の非構造部材の耐震化について
- \* 総合体育館のマンホールトイレについて
- \* 特別警報、危機管理対策について
- \* 蔵王ため池について
- \* 飯豊連峰、奥胎内について
- \* 蔵王山農地開発事業について



中条すこやかこども園建設現場





桐生清太郎 議員

# 胎内市の観光について

**議員** 胎内市の豊富な観光資源を点から線で結び、1日コース、一泊コース等を作り、観光ガイドが案内するなど、通過型観光から滞在型観光に変えることにより、150万人観光、さらに200万人観光も夢ではなく、その中核は胎内リゾートである。現状と今後の運営方針は。奥胎内ヒュッテは飯豊連峰の山岳観光の拠点、市は運営形態を見直し本腰を入れて取り組んで。

**市長** 胎内リゾートエリアの活性化は無駄の削減から付加価値の創造へとステップアップの段階、市内及び周辺地域との連携、食や物販、各種イベントなどで地域性の向上を図りリゾートエリア全体の付加価値を上げ、指定管理料は徐々に低減しており、今後は地場産品の活用、直売所等の設置、宿泊客においては首都圏や新潟都市圏をターゲットに多様な媒体を活用し情報発信している。奥胎内ヒュッテは登山者の防災拠点でもあるが、営業期間は6ヶ月しかなく、採算ベースは難しい施設で、奥胎内の新緑や紅葉は貴重な観光資源であり、自然環境に配慮しながら、しばらくは指定管理方式で運営したい。



奥胎内ヒュッテ

## 住みよい町、住みたい町 胎内市の施策は

**議員** 大都市への人口移動が進み地方での高齢化現象が現実的な社会構造になっている。それに伴い各地で空き屋が増えている。現状をふまえて空き屋バンク制度創設の時期と考える。合わせて若者の定住促進策の考えは。

**市長** 市では昨年から実態調査を行って来た。一般の空き屋は295戸中、活用できると思われる家屋233戸、危険と判断した戸数は62戸。空き屋バンク制度もひとつの手段だが、導入市町村の現状を見ると、現時点での設置は見合わせている。また、若者の定住策として昨年実



黒川診療所

## 地域医療の確立は 行政の役割

施した意識調査では、医療、福祉、子育て環境の充実、就農、就職支援、商業のにぎわいなど生活を営むうえでの施策を重点に展開して行く。

**議員** 黒川診療所は過去60年以上にわたり過疎地の地域医療を担ってきた、胎内地区唯一の医療機関で、今年度で医師が退任する事を知り、地域では大きな不安を抱いている。後任医師の確保策は。

**市長** 全国的な医師不足の状況の中で後任医師の確保は困難な課題であるが、地域住民に身近な医療を提供するため、後任医師確保に取り組んでいる。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

# 市の施設について



佐藤 秀夫 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



川合亭 スタッフ入口

**議員** 川合亭が使用停止になって3年、市の財産を後世に引き継ぐ努力は。

**市長** 山全体を補強する必要があるため、現実的には実施が困難。

**議員** 胎内地域活性化センターについて、今後どのような活用方法を考えているか。

**市長** 隣接している農畜産物加工施設や乳製品加工センター同様、民間に移行した上で特産品の流通、販売拠点施設として活用していきたい。

**議員** 大平實氏の作品を展示する胎内彫刻美術館の管理をどのように考えているか。

**教育長** 当面は大平氏の作品や彫刻美術館についての情報発信を進め、

愛好者等を中心に来館者の増加を図るとともに、将来的には、市が所蔵している絵画などとあわせて展示スペースを設けて集客を図っていききたい。

**議員** 市営前山台団地の空き家の状態と利用促進について。

**市長** 入居募集や減免制度の周知、リフォームや新築など工事期間中のみの短期利用者の取り組みを実施していきたい。家賃の減額と減免のどちらが入居率の向上につながるのか再度検討していきたい。



前山台団地

## 黒川地区の排水について

**議員** 黒川上町地内の側溝は土砂の堆積等で浅く、多少の降雨で冠水する。側溝の全面的な改良等はできないか。

雨水による増水時に水の分配機能の設置は考えられないか。

**市長** 早急に新発田地域振興局、胎内川沿岸土地改良区、市の3者で再度調査、検討を行い関係機関に強く要望していきたい。

**議員** 黒川地内消雪パイプの配管全面入れかえと、北町の県道の消雪パイプの延長はできないか。

**市長** 消雪機能の低下が著しい箇所については整備、入れかえ工事等を実施している。



黒川地内消雪パイプ



丸山孝博 議員

# 市幹部職員の再就職について

**議員** 市の幹部職員が、商工会、シルバー人材センター、社会福祉協議会などに定年退職後再就職し、それが慣例化していることに市民から強い批判があるが、市長の見解は。

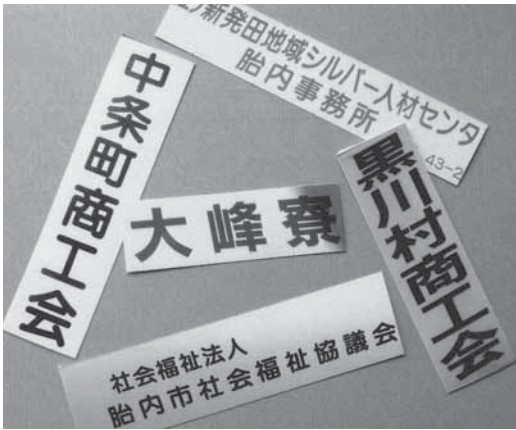
**市長** あくまでも当該団体と退職者個人との間の話し合いであり、知識や指導力について団体が求める人材の資質と合致した結果と理解している。

**議員** 過去5年間の実態はどうか。

**市長** 7人の元幹部職員が再就職している。

**議員** 団体から依頼があつても公募、または内部登用するよう伝え、断るべきでないか。

**市長** 公正性や公平性の観点からは正すべきものと考えている。



主な再就職先

## 中条駅西口整備事業は市民参加型を

**議員** ワークショップを生かした市民参加型を積極的に採用し、市民にどんどん情報提供し、もっと柔軟に多くの市民が自由に意見を言える市民参加型の機会をつくるべきだろうか。

**市長** 今後、中条駅西口周辺整備の具体的な機能や意匠などについては審議会からの答申に基づき決定するが、その前段においてワークショップ等、市民参加型の手法を用いて多くの市民に参画してもらう。

**議員** これから、工事が始まると工事車両の道路の確保と完成後の利用者のことを考えると西中央線になく道路はどうしても必要という地元の要望があるがどうか。

**市長** 既存の農道を活用して、西中央線につながる道路を考えたい。



中条駅ホーム

### 【その他の質問事項】

- \*消費増税とTPPの見解は。
- \*中長期的な観光まちづくり策は。
- \*市営墓地構想の具体的見通しは。
- \*公契約条例の制定について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

# 常任委員会審査

## 総務文教

### 防災会議条例の一部改正

「防災に関する重要事項を審議すること及び市の地域に係る防災に関する事項に対し、市長に意見を述べることを追加し、また、防災会議の委員として、自主防災組織を構成する者または識見を有する者から1人委員に選任できることを追加する」

**質問** 委員の定数が17人以内となっているがどういふ方が対象か。

**答弁** 羽越河川国道工事事務所の職員1名、新潟県警の警察官1名、新発田地域広域消防の職員1名、市長の部の職員3名、教育長、消防団長、指定地方公共機関の職員5名、自主防災組織を構成する者または識見を有する者1名、いずれも市長が委嘱する。

### 特別職の職員の給与に関する条例及び教育長の給与及び勤務条件等に関する条例の一部改正

「本年11月1日から任期満了の日まで、これまでと同様に、市長の給料を10%、副市長及び教育長の給料を5%それぞれ減額する」

**質問** 財政健全化の取り組みを考慮してのことだが、財政は急にはよくなるかと思う。後任に対して前例をつくることになるか。

**答弁** 後任に影響を及ぼさないよう、あくまでも現職の任期の期間内としている。

**質問** 報酬審議会に諮っていないが、審議会が形骸化するのはないか。

**答弁** 報酬審議会は年1回というのを基本としており、25年度については開催する予定。

### 男女共同参画推進委員会条例

「平成20年に策定した胎内市男女共同参画プラン21を見直し、公募による委員を含む10人以内で組織する男女

共同参画推進委員会を設置するもの」

**質問** 委員の男女比は。

**答弁** 応募状況にもよるが、半分半分と考えている。

**質問** 男女共同参画は言われて久しいが、プランが出来てからの5年間の総括は。

**答弁** プラン策定後、会議は開催してきたが検証はしていない。この度の条例を制定し推進に努めたい。

## 厚生環境

### 黒川診療所運営事業特別会計補正予算

「563万9千円を追加し、総額を1億2,063万9千円とする。歳出では、今年度退職予定の診療所所長の後任医師を確保するため、招致活動を行う旅費及び広告費を増額し、施設修繕工事を計上。歳入では前年度からの繰越金の確定に伴い繰越金を増額」

**質問** 後任医師が見つからない場合は、黒川診療所は閉鎖になるのか。

**答弁** 市内の医療機関の協力で、毎日ではなくとも対応することを視野に入れながら、短期5年以内は医師確保に努めていきたい。

### 公害防止条例の一部改正

「悪臭について指導・勧告を行っても改善が見られないケースがあるので、措置命令を発した時は、相手方の氏名・名称・命令内容等を公表することを規定する」

**質問** 名前を公表する条例は県内自治体でいくつあるのか。公表の仕方は

**答弁** 県内で公表している自治体は無い。県外ではある。公表の仕方は、市報、ホームページを考えている。

### 認定こども園条例

「本条小学校跡地に建設中の幼保連携型こども園は平成26年4月から開園するに当たり、園の名称を【中条すこやかこども園】とするほか、その事業内容を定めるもの」

**質問** 27年度からの法改正による保育料の変更はないのか。バスの運行は保育園と幼稚園で2段階送迎か。

**答弁** 保育料について国が指針を示すのか、市町村に任せるのか明確になっていないが、胎内市の保育料は県内20市で安い方から5番目以内にランキングされている。バスについては基本2段階と考えている。

# 産業観光

## 観光事業特別会計補正予算

「820万円を追加し、総額を1億8,560万円とする。歳出では、胎内スキー場50周年記念イベントの負担金を計上、胎内スキー場駐車場の舗装工事費を増額。歳入では、一般会計繰入金、鹿ノ俣発電所運営事業繰入金、当会計の前年度からの繰入金」

**質問** 50周年記念事業の時期と内容は。

**答弁** 12月1日にオープニングの記念式典。1月25日、26日に全日本スノーモービル選手権。2月16日に下越スキー技術選手権。3月1日はスキーカーニバルとして、三浦雄一郎氏の記念講演を予定。3月下旬に記念誌を発行する予定。

**質問** 補正400万円の内訳は。

**答弁** 宣伝広告70万円、印刷製本50万円、記念式典関係22万円、スノーモービル選手権7万5千円、下越スキー技術選手権15万円、三浦雄一郎氏の出演料等150万円を含みスキーカーニバルに223万円、その他事務経費13万5千円。

**質問** 主催はどこか。

**答弁** 50周年記念事業は10月30日に立ち上げる予定の実行委員会が主催。スキーカーニバルは観光協会が主催。

## 地域産業振興事業特別会計補正予算

「770万円を追加し、総額を5億9,800万6千円とする。歳出では、黒豚生肉の仕入れ原材料代を増額、産業廃棄物処理手数料を増額。歳入では、事業収入、鹿ノ俣発電所運営事業繰入金、当会計の前年度からの繰入金」

**質問** 畜産物加工品の4月～9月分の売り上げは。

**答弁** 生肉販売575万円（対前年比246%）、ハム類販売1,167万円となっている。

**質問** 売り上げが上がっていると思うが、仕入れの割合に販売収入が少ないのでは。

**答弁** 生肉は販売価格を高くするとなかなか売れない。黒豚1頭当たり4万円を仕入れて、4万4千円で売っている。リザヤは少ないが、地域の活性化や他産業への波及効果が期待できる状況である。

# まちづくり

## 農業集落排水事業特別会計補正予算

「1,936万円を追加し、総額を5億8,836万5千円とする。歳出では、人事異動による人件費、黒川地区にある処理場の機械入替工事費を増額。歳入では、鹿ノ俣発電所運営事業繰入金、当会計の前年度からの繰入金を増額し、一般会計繰入金、財政調整基金繰入金を減額」

**質問** 工事請負費の内容は。デジタル化は将来的にどれ位掛かるのか。

**答弁** 処理場の除塵機1,000万円、無線デジタル化関係630万円。デジタル化は向こう10年位で、金額にして1,700万円位。全部で74カ所、今回は5カ所。

## 簡易水道事業特別会計補正予算

「1,320万7千円を追加し、総額を2億1,720万7千円とする。歳出では、人事異動による人件費、光熱水費、浄水法の変更に伴う変更認可申請業務委託料を増額し、鼓岡浄水場機能増設工事費を減額。歳入では、当会計の前年度からの繰入金、国庫支出金を増額し、繰入金を減額」

**質問** クリプトスポリジウム対策として、どのような施設にするのか。

**答弁** る過に比べ金額が低い紫外線照射を考えているが、それでも1カ所1億5千万円かかる。

**質問** セシウムの測定費用はどれ位掛かるのか。東電に請求できるのか。

**答弁** 検査費用は1件8,500円、簡水・上水も含め年間44万円。全額を東電に請求しお金も入っている。

## 中条駅西口周辺まちづくり審議会条例

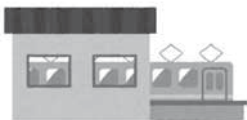
「西口周辺まちづくり構想の検討、調査、審議を行うため、公募による委員を含む12人以内で組織する審議会を設置する」

**質問** 公募による委員は何人位か。

**答弁** 3名を予定している。

**質問** 駅舎、連絡橋も構想の中に入るのか。

**答弁** 駅舎、自由通路、広場も含むが、J・Rとの覚書を結んだ時点で工事の実施位置、範囲が決まる。



# 行政視察 報告



## 議会運営委員会

7月1日からの2日間の日程で埼玉県飯能市と鶴ヶ島市議会を視察研修してきた。

**飯能市議会**  
《タブレット端末導入でペーパーレス化の取組み》について

飯能市はISO14001を取得し、環境に配慮した活動を推進していることから、議会としても電気使用量、ゴミの排出量、紙使用量の削減に取り組み、議会改革検討委員会で論議の結果、ペーパーレス化に向け、情報端末機器（タブレット）導入を決めた。その結果、全員協議会資料や本会議議事録冊子の廃止により、年間210万円の紙使用量（約10万枚）の削減が図られ、緊急メールや情報伝達メールで迅速な連絡ができるようになったと聞き、正に先

進的な取組みと感心した。

タブレット導入で、案件済の書類や資料の整理、検索が簡単にできることは、大いに評価されるので胎内市も多方面から検討し、導入していくべきと思った。



タブレット端末機器

**鶴ヶ島市議会**  
《議会運営全般と議会改革の取組み》について

人口7万198人、面積約17.7km<sup>2</sup>、議員定数18人。議会改革に取り組んでから2年以上の期間を経て、議会基本条例の制定に至っている。議会報告会は年1回、4月に開催。インターネットで生中継を実施。

一期生6人で構成した議会改革委員会を設置し、『やれることからやろう』と取り組んでいた。

鶴ヶ島市の面積が当市より小さいため、そのまま運用することはでき

ないが、今後検討することは多いにあると思った。

（文責 花野 矢次兵衛）

## 議会報編集特別委員会

去る9月5日福島県双葉郡広野町での研修でしたが、福島第一原発から20〜30km圏内のため、いまだ原発事故で避難した全市民5,490名の20%（1,200名）余りしか戻ってこないという厳しい状況であった。

そんな中、広野町の議会報は、コンテンツで全国最優秀はじめ、震災後の本年度も優良賞と、その技術は高く評価され「読みやすい議会だより」から、「読みたくなる議会だより」への取り組みは大いに参考とした。

1. 専門用語やカタカナ用語を少なくして、市民に分かりやすい文章にする。

2. 特に高齢者に配慮しては、文字を大きくし1行の長さを10字と短くする。

3. 文章の終わりを〜です。〜します。にしたり、写真と余白を最大

限活用して優しい紙面とする。

4. 公平、正確、客観性を常に保つこと。

5. 一般質問は、編集委員が要約し掲載する。議案等の質疑については、質問議員と答弁者の氏名も掲載する。

6. 「まちかどインタビュー」と題し、編集委員がその時々の問題を自分の目で見つけ、市民にインタビューし掲載する。

7. 議員が過去に行った一般質問や提言に答えた執行部の答弁が、どう政策に反映されているかを迫った「追跡レポート・あの質問はどうなった」を毎回掲載する。

8. 震災後は、出来上がった議会だよりは、すべて郵送にて住民の皆さんへ届けている。

今回の研修成果を今後の「たいない議会だより」の編集に生かすべく委員一同気持ちを新たに、被災地の一日も早い復興を願いつつ視察を終えた。

（文責 富樫 誠）

# 閉会中 所管事務調査

## 総務文教常任委員会

### 胎内市学力向上の取組みについて

当委員会では、去る7月26日金曜  
日午後から、委員会室にて、小野教  
育長、小野学校教育課長、高橋管理  
指導主事、小谷指導主事、坂上指導  
主事の5名の出席を求めて、「胎内市  
の学力向上の取組みについて」と題し、  
総務文教常任委員9人と議論した。

はじめに、小野教育長から胎内市  
における教育の現状について話を頂  
き、高橋管理指導主事から「胎内市  
の子どもたちの学力向上の取組みに  
ついて」スライドをもちいながら具  
体的に解り易く説明を頂いた。

その後、自由討議を行い、各委員  
から忌憚の無い質問・意見・教育へ  
の熱い思いを頂き、お互い、熱心な  
討議でとても有意義な研修となった。

#### 〔主な自由討議内容〕

・本日説明を受けた教育委員会の熱  
い思いを胎内市内の一人ひとりの

教諭が理解し、実践してほしい。

・教育の目標を確立し、子どもが理  
解するまで教えることが必要だ。

・現在の学校の教師が非常に忙しく  
ゆとりが無いのではないか。

・指導主事の応援や地元高校との連  
携についてもっと必要ではないか。

・先進地と比較して胎内市の中学生  
の家庭での学習時間が少ない。

・市外特別支援学校への通学関係の  
支援がもっと必要ではないか。

・学校、家庭、教育委員会が一体と  
なり「当たり前」の事を当たり前  
のようにやる」を徹底し、決めた  
ことは必ずやりきることが大事と  
考える。

・学校、地域、保護者、子どもたち  
の信頼関係が重要ではないか。

## 産業観光常任委員会

(7月9日実施)

### 所管事業の取組み状況について

#### ・農林水産課

・市内農業の現状と今後の課題

・人・農地プランの内容

耕地面積は4,300ha(水田3,

570ha・畑730ha)であり、水

田の2,407haについて大規模圃

場整理が終わった。

生産額では

米 42億2千万円

畜産 59億7千万円

野菜 6億9千万円

花物 6億1千万円

葉たばこ 7億6千万円

などとなっている

販売農家数は1,449軒でこの

5年間で19.2%減少した。専業農

家は横バイであるが第一種兼業農家

数は36.5%減少した。また、従事

者年齢は65歳以上ではH17年33%が

H22年59%と高齢化が進んでいる。

#### ・商工観光課

・出会いサポート事業

・緊急雇用創出事業臨時特例債交

付金事業

・プレミアム商品券事業

・地方消費者行政活性化事業

・観光振興事業

H24年の出会いサポートでは3月

実施で41人参加で6組、10月は40人

参加で5組カッパル成立した。その

後の追跡については個人情報もあり

控えたい。

緊急雇用については、震災等5名、

重点分野等15名、起業支援等4名の

雇用創出となった。プレミアムにつ

いては総額2億8千万円の1割は助

成した。また、胎内温泉祭りでは4,

500人参加した。スキー場ではリ

フト修繕費に900万円を要した。

#### ・農業委員会事務局

・農業委員のための研修テキスト

・農業委員会概要

農業委員会事務局としては、法令

業務で農地法に基づく農地の権利移

動の許可、農業経営基盤強化促進法

に基づく農用地利用集積計画の決定

等、他農業振興業務を行う。

各課長より深く掘り下げた解説が

あり有意義な研修となった。

(文責 高橋 政実)



(文責 薄田 智)

# 平成24年度

# 決算審査行われる!

## 決算審査特別委員会

## 一般会計

※質疑のなかった款については掲載していません

10月18日

歳入総額は、157億4,716万円で、予算現額に対する比率は92・95%で、歳出は、150億333万5千円で、予算現額に対する決算額執行率は、88・56%であり、実質収支は、7億4,382万5千円の黒字となっている。

審査の着眼点として、歳入では、予算が計上どおり確保されたか。また、そのための努力が十分なされたか。歳出では、予算が事業等の趣旨、目的に従って適性に執行されたか、また、行政効果がどの程度達成されているかを主眼において、審査が行われた。

# 歳出

### 総務費

**質問** たいない出会いサポート事業で成立したカップルの中で結婚にたどり着いたケースは何件か、結婚した場合の市からのお祝い、恩典はあるのか。

**答弁** 12組成立、2組結婚。プレゼントは今まではない、今後考えたい。  
**質問** このような機会で結婚した場合は、定住促進につながることを考えてほしい。

**答弁** この出会いによって結婚した方が胎内に住んでいただけよう環境づくりや、子育て支援に努力したい。

**質問** 区長報酬の支払いの基準額は。  
**答弁** 区長報酬は、年額2万3千円プラス世帯数割、1世帯1,800

円×世帯数。

**質問** 免許証返納者へのデマンドタクシー券は一人何枚で、年間何件か。  
**答弁** 年間31件、一人に22枚。

**質問** イリノイ友好会館の管理費について、貸館をやめても1千万円位かかっている。無償譲渡により、来年度から予定通り費用は無くなるのか。

**答弁** 予定通り進んでおり、登記移転作業の業務にはいつている。

### 民生費

**質問** たいないタスクの配布基準について。

**答弁** 救命ホルダーたいないタスクは、高齢者一人暮らし世帯、高齢者のみの世帯、外出時に不安を抱えている希望する人に配布。

**質問** 胎内市の保育士の正規職員50人のうち、保育園、幼稚園の両方の資格を持っているのはどれぐらいか。  
**答弁** 研修を受ければ得られる人も含め7割以上。最近の採用者は、ほぼ全員両方の資格あり。

**質問** 塩の湯温泉施設改修工事の内容は。  
**答弁** 空調、給水、浴室のガラスの取り替え。

**質問** 心身障がい者の委託料、日中一次支援委託料の内容と範囲は。

**答弁** 対象者の数としては、15名程度、日中一次支援が、在宅で介護されている方、特別学級の子については、医療支援等対応している。しかし、課題もあるので要望にかなうようケアしていきたい。



塩の湯温泉脱衣所

### 衛生費

**質問** 臭気測定は何か所で、年何回実施しているのか。

**答弁** 臭気測定は、16カ所、年1回、7月下旬から8月上旬。

**質問** 環境パトロールは、どこに委託しているのか。不法投棄の回収は、どれぐらいあるか。

**答弁** 市内の業者に委託し、海岸線



沿い、平場、山手、市内全域くまなくルートを決めて週3回パトロール実施。地域からの連絡は職員が確認、警察と連携して対処、回収している。

**質問** 油分離施設管理の現状と今後の見通しについて。

**答弁** H19年1月から実施、1月には500リットルあったが、H25年8月の報告は2リットルに激減、現状を見ていきたい。

### 農林水産費

**質問** 松くい虫防除を行う業者は何社あるのか。

**答弁** 県内は把握していないが、市内は7〜8軒。

**質問** 胎内型ツーリズムの民泊の宿泊者の推移と、受け入れ世帯の推移は。

**答弁** 農泊の推移は、登録農家83軒からスタート、現在お願いできる農家は、40軒程度、H24年度の宿泊者は、551人。

**質問** 新潟フルーツパーク補助金は、市が補てんしている部分だけを償還しているのか。

**答弁** 1,276万8千円は、償還金そのものの額である。

### 観光費

**質問** 監査の意見書の中にある多額の内部留保がある団体への補助金について、どう考えているのか。

**答弁** 商工会と十分検討したい。

**質問** プレミアム商品券の分析は。

**答弁** 大型店利用数が12店舗、換金額3,181万3,500円、地元店利用は181店舗、換金額が1億1,299万1,000円。

**質問** 観光活性化業務委託料はどこに委託し、どんな内容か。

**答弁** 米粉発祥の地としての商品・料理の開発プロジェクトの各種アドバイスを得るため、財団法人日本交通公社に委託している。

**質問** 観光協会負担金が増えた理由は。

**答弁** 緊急雇用での職員2名分の人件費。

### 土木費

**質問** 住宅リフォームで補助金にする工事金額はどれぐらいか。

**答弁** 補助対象は、222件、4億4,284万6,752円。

### 教育費

**質問** 産業文化会館費の委託料で、点検は年に何回か。

**答弁** エレベーターは年2回、その他、年1回。

**質問** 使用しないときは、点検必要ないと思うが。

**答弁** 法律的に、管理と安全上必要。

**質問** 各種大会激励費の支給について、大会前は現金で、大会後は振り込みになる理由は。

**答弁** 事前に手続き後、現金交付するまで4日必要、その他の場合は、



全国中学校陸上競技選手権大会  
中条中学校3名出場  
(高橋・本間・伊藤)  
名古屋市瑞穂陸上競技場

口座振り込みで激励。

**質問** 調理委託料がなぜ増えたのか。

**答弁** 調理委託業務は、施設のほかにある調理器具全般にわたって、委託業者に貸し付けるという契約。大きな備品が数種類入ったことにより使用料が上がリ委託料も増えた。

### 歳入

**質問** 市税で滞納分がかなりあるが、徴収方法は。

**答弁** 預貯金、生命保険等財産を調査し、財産がある分は差し押さえ、また公売等により徴収を確保。

**質問** ごみ処理手数料の中の、指定ごみ袋の売上は。

**答弁** ごみ指定袋の収入は、4,866万6,850円。

**質問** 米級グルメ、実行委員会に400万円支出しているが、そこでは出店料を徴収していないのか。

**答弁** 米級グルメから出店料はもらっていない。

**質問** 住宅使用料で未納金はあるのか。

**答弁** 未納金はある。

**質問** 集金方法は、税金と同様、催促している。

# 決算審査特別委員会

# 特別会計

※質疑のなかった会計については掲載していません

10月21日

## 主な質疑

### 国民健康保険事業

**質問** 高額医療費で一番高い病名は、また、80万円を超える高額医療費対象者は何人位か。

**答弁** 病名はフアブリー病であり、年間約2,700万円かかる。80万円を超える件数は220件である。

**質問** 市ではジェネリック薬品を勧めているが、医療機関ではどうか。

**答弁** 市民には市報を通じ周知に努めているが、主治医の考えによる。

**質問** 出産育児一時金は一人いくらで何人分か。

**答弁** 一時金は一件42万円で24年度は26件である。

**質問** 医療費増の歯止め策は。

**答弁** 個々の予防、健康管理が大切である。



黒川診療所

### 後期高齢者

### 医療保険事業

**質問** 高額医療費の償還払い請求は代理が可能か。

**答弁** 代理でも受付けている。

### 介護保険事業

**質問** 介護認定者のうち、在宅介護と施設入所の割合はどうか。

**答弁** 認定者1,312人の内、在宅介護946人、施設利用者は366人である。

**質問** 要支援1、2の中で認知症の人数は。

**答弁** 要支援1が15人、要支援2が4人である。

### 農業集落排水事業

**質問** 水洗化率はどうか。

**答弁** 黒川地区91・8%、鼓岡地区72・2%、乙地区50%、大長谷地区44・2%で人口によるものである。

### 観光事業

**質問** 旅行あっせん費について、一般市民の利用程度はどうか。

**答弁** 一般市民の利用はない。

**質問** やるなら観光に寄与するものとしてやるべきだ。

**答弁** 旅行のあっせんについては行

政、団体だけでなくPRが必要と考えているので、今後市民にPRする。

### 地域産業振興事業

**質問** 米粉製造事業について、23年度決算より3,000万円少ない原因は。

**答弁** 米粉の需要が少なかったのが原因。消費の拡大に努めているがなかなか伸びない。

**質問** 行政はもっと研究分析を行う時期と考えるが。

**答弁** 米粉工場も佐渡市、妙高市に出来て、市町村間で競争している中で、その中でいかに生き残るか十分計画を立ててやっていきたい。

**質問** 乳製品加工について委託後もマイナスであるが。

**答弁** チーズ工場のみが返済金が残っているが25年度で終わる。



# 決算審査特別委員会 公営企業会計

※質疑のなかった会計については掲載していません

10月22日

## 主な質疑

### 公共下水道事業

**質問** 一般会計に頼らない努力をすべき。それには接続率を85%位にすることと滞納を出さない工夫も必要だ。また、専門員の話はどうなったか。

**答弁** 接続専門員はH26年度から採用したい。85%の接続率は可能と思うので努めて行く。

**質問** 接続に対し融資制度があるが返済期限は何年で上限は何万円か。

**答弁** 返済期間は7年。上限は120万円でH24年度の利用は一件。



中条浄化センター

### 水道事業

**質問** 配水管の老朽化に伴う漏水の件数と、それに要した費用は。

**答弁** H24年度は27件で、要した費用は347万円ほどである。

**質問** 年々増える状況か、また、それを検知する方法は。

**答弁** 徐々に減っている。漏水を発見する機械を用い業者をお願いしている。



富岡水源地

**質問** 有収率3%ほど良くなっているがその理由は。

**答弁** 有収率の上があった理由は、乙地区の赤水がひどかった為に、水を出していたのをやめた。

**質問** 石綿管の布設替えの残りの計画はどうか。

**答弁** 石綿管は今年度で6割ほど終わる予定であるが、別のルートもあり、H31年度前に更新できるのでないかと考えている。

## 議員発議

○ 地方税財源の充実確保を求め  
る意見書

陳情者  
全国市議会議長会

○ 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

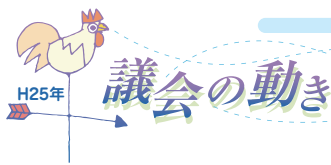
陳情者  
全国森林環境税創設促進議員連盟

○ 私立高等学校の学費と教育条件の公私格差是正にむけ、私学助成の増額、拡充を求める意見書

陳情者  
新潟県私学の公費助成をすすめる会

○ 新聞の軽減税率に関する意見書

陳情者  
胎内市新聞販売業者会



### 議会の予定

12月

- 5日(木) 本会議(初日)
- 10日(火) 総務文教常任委員会
- 11日(水) 厚生環境常任委員会
- 12日(木) 産業観光常任委員会
- 13日(金) まちづくり常任委員会
- 18日(水) 本会議(一般質問)
- 19日(木) 本会議(一般質問)※
- 20日(金) 本会議(最終日)

※19日(木)は通告数により、休会になる場合があります。



\*\*\*\*\*



胎内小学校6年生  
渡邊 朱理<sup>あかり</sup>さんの作品です。

胎内小学校は、低学年も高学年も仲よしです。  
わたしは、縦割り「にっここ班」の班長として、みんなを引っばっていくように、がんばっています。



\*\*\*\*\*

### 友好都市綾化市へ

#### 胎内市視察団が訪問

日程 10月30日～11月3日  
視察内容 友好都市綾化市との教育、文化、産業、観光分野における分野での相互交流促進のため

参加議員 松井恒雄、花野矢次兵衛、八幡行雄、佐藤秀夫、高橋政実、薄田智

#### 綾化市での対応者

趙副市长、張副主席、楊教育長ほか、外事弁公室の方々



綾化市の庁舎前にて

#### 綾化市の概要

綾化市人民政府は、人口580万人、3万5千km<sup>2</sup>を管轄し、市の庁舎は11階建ての重厚なビルディングを構え、市庁舎付近では、ホテルなど建設中のビルが多く開発と建設ラッシュが進行中。また、主要産業は、農業であり、とうもろこし、大豆、水稲などの穀類作物、麻などの商品作物が主なものとなっており。

#### 編集後記

今年の秋は、毎週のように台風が日本列島に襲来し、各地で大きな被害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。幸い胎内市においては大きな被害はありませんでしたが、近年、気象台の「観測史上初」という言葉が頻繁に使われ、過去に経験したことのないような量の雨が一日で降ったりします。いかに科学が進歩しても自然の猛威の前では人間は無力であることを肝に銘じ、肝心なことは、その時、いかに行動するかであります。また、避難勧告など適切な判断を下し、それを確実に伝えて住民の安全を守る責務を自治体は負っています。対応のまずさを批判されている首長の哀れな姿をテレビは好んで映しますが、それを他人事だと思っははいけません。平穏な日々の中でも危機感を持って、いざという時の為に備えましょう。

(森田)

◆平成25年12月2日 ◆発行責任者 議長 渡辺 宏行

FAX (02554) 43-6111 (02554) 44-7875

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/島津印刷株式会社